

別表「評価基準」

項目	基 準		配点
業務の実施方針等	事業目的等の理解度	・事業目的及び概要を的確に把握・理解し、こちらが求める事項が漏れなく入っているか。	10
	妥当性及び独創性	・プロジェクトやプランディング戦略の趣旨を理解し、対象施設における交流人口の増加が期待できる内容となっているか。 ・各対象施設の設置目的や特性を踏まえた内容となっているか。 ・独自の視点や創意工夫があるか。	20
	実現可能性	・実現可能な提案となっているか。	10
	その他	・その他、他に評価すべきところがあるか。	5
総合的な評価	業務遂行の体制	・業務の遂行に必要な人員・組織を有しており、適材適所の体制がとられているか。 ・連絡調整等の体制・能力は十分か。	20
	スケジュール	・業務の全体スケジュールが的確に示され、現実的なスケジュールとなっているか。	10
	事業実績	・同種の業務の実績を有しているか。 (公共施設のプランディング推進に係る業務等) ・業務の実績は良好か。	15
	見積額の妥当性	・予算の範囲内での見積りとなっているか。 ・提案内容と見積額の内容は適当か。	10
総 計			100

※提案内容の水準を確保するため、最低基準点を合計点の5割とし、それ以上の点数を得た参加者の中から最優秀提案者を選定するものとする。